

# 全国中学校スケート大会の 継続開催について

---

文化スポーツ振興部  
スポーツ課



# 全国中学校スケート大会について

## ■ 趣旨

中学校教育の一環として、生徒に広くスケート競技実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、心身ともに健康な生徒を育成するとともに、生徒相互の親睦を図るもの

## ■ 主催

日本中学校体育連盟 日本スケート連盟 長野市 長野市教育委員会

## ■ 歴代優勝者(抜粋)

### 長野市での大会優勝者

フィギュア 羽生結弦(3連覇)、宇野昌磨(3連覇)、村上佳奈子(2連覇)  
宮原知子、三原舞依、樋口新葉(2連覇)、本田真凜

スピード 佐藤綾乃、一戸誠太郎、杉田駿介(長野市初の大会優勝・34回大会)  
小山香月(長野市・2018ISUジュニアワールドカップ2位)、宮川鈴佳(長野市)

### 長野大会以前の優勝者

フィギュア 荒川静香(3連覇)、高橋大輔(2連覇)、安藤美姫、浅田真央

スピード 大菅小百合、小平奈緒、菊地彩花、高木菜那

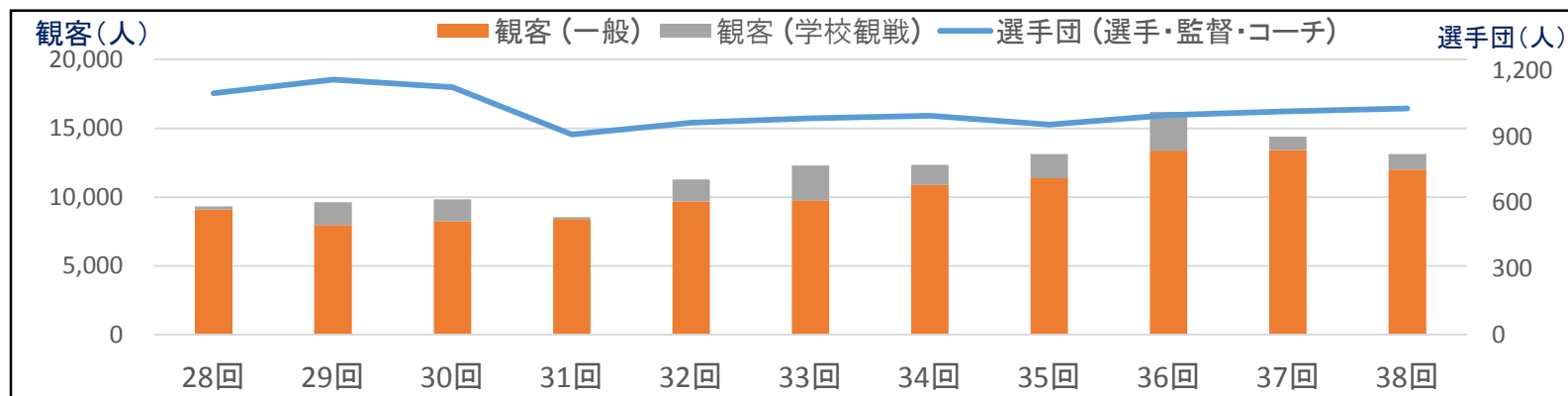
※ 近年、特にフィギュアスケート競技の若年化とともに全国からの注目を集めている。

# 全国中学校スケート大会について

■開催決定期間 2007年度—2021年度(15年間)

■会場 スピードスケート :エムウェーブ(長野市オリンピック記念アリーナ)  
フィギュアスケート:ビッグハット(長野市若里多目的スポーツアリーナ)

■参加人数



		2007年度 28回	2008年度 29回	2009年度 30回	2010年度 31回	2011年度 32回	2012年度 33回	2013年度 34回	2014年度 35回	2015年度 36回	2016年度 37回	2017年度 38回
選手団	選手	554	565	604	499	509	534	523	498	513	516	527
	監督・コーチ	542	593	520	411	454	449	471	456	484	499	501
	合計	1,096	1,158	1,124	910	963	983	994	954	997	1,015	1,028
観客	一般	9,104	7,965	8,236	8,395	9,682	9,770	10,894	11,380	13,371	13,432	12,006
	学校観戦	231	1,664	1,604	156	1,598	2,524	1,453	1,737	2,804	950	1,124
	合計	9,335	9,629	9,840	8,551	11,280	12,294	12,347	13,117	16,175	14,382	13,130

■開催経過 一般財団法人地域活性化センターが実施する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認大会として、2007年度から2016年度までの10年間、長野市で開催され、その後、5年間延長して2021年度までの合計15年間の継続開催が決定している。

# 全国中学校スケート大会の効果

## ① 宿泊滞在型スポーツイベントの継続

これまで比較的閑散期であった1月下旬から2月上旬の時期に大きな経済効果をもたらしており、旅行、宿泊、交通等関係事業者にとって、長野市の冬の年中行事として定着してきている。

### 経済波及効果

(平成27年度に調査)

直接生産誘発額  
1億5,361万円

長野県内の生産によって  
賄われる額

+

1次生産誘発額  
5,228万円

左記により県内産業に引き起こ  
される県内産業への影響額

+

2次生産誘発額  
4,644万円

左記までの過程で生まれた  
所得による消費等の総額

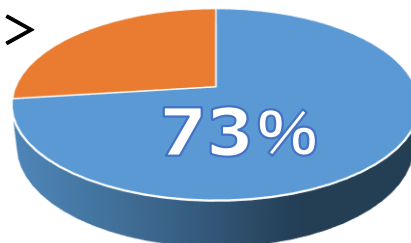
=

2億5,233万円

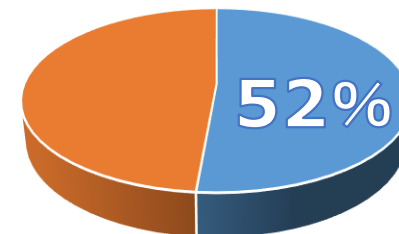
長野市実行委員会が手配する、選手・監督・コーチ、大会役員等の配宿は、13の宿泊施設で4,366泊(29年度実績)であり、保護者等の観客を含めると、更に多数になる。

### <平成27年度に行った会場アンケート調査>

大会参加者・観客を対象



宿泊をする



大会に合わせ観光をする

# 全国中学校スケート大会の効果

## ②長野オリンピック財産の活用

オリンピック施設を利用したウィンタースポーツの拠点化に取り組むことは、オリンピックムーブメントの推進を図り、市民の感動と誇りを次世代に引き継ぐとともに、有形無形のオリンピックレガシーの継承をすることでもある。

オリンピック  
施設の有効  
活用

オリンピック  
レガシーの  
継承

スケートの  
聖地を  
目指す

オリンピック  
を契機とした  
スポーツ文  
化の継承



# 今後の方針

## 効果

- ・ 経済波及効果
- ・ オリンピック財産活用・レガシー継承
- ・ スケートの拠点化

## 要望

- ・ 日本中学校体育連盟
- ・ 長野県中学校体育連盟、長野市スケート協会

## 方針

# 5年間延長

(2022年度から2026年度まで)

## 継続開催決定までの流れ

日本中学校体育連盟は、大会開催の3年前までに開催地を決定する。

2022年度以降の大会については、2019年度中に開催地を決定する。

日付	会議名等	内容
2019.2月	日本中体連競技部会	2022年度以降の開催について希望確認
3月	政策会議	
4月	部長会議	
4月	市議会政策説明会	
4月下旬	日本中体連による意向調査	回答
5月	日本中体連理事会	開催地選考
6月	日本中体連による開催地決定	

# 冬季競技振興基金(ながの夢応援基金) 今後の運用見通しについて

## ■2022年度以降5年間延長した場合の基金残高(想定)

年度	積立額 (寄附・利子)	取崩額	年度末残額	基金取崩額の内訳(千円)	一般財源
2017	14,249,842	104,275,218	131,591,813		
2018	104,691,071	64,850,000	171,432,884	距離別4800 長マラ26750 全中19000 灯明10000 トリームリンク1200 テーラン1200 ジャパンカップ1900	
2019	13,240,000	79,450,000	105,222,884	距離別4800 全日本4800 全日本スプリント4800 ワールドカップ14000 長マラ26750 全中19000 トリームリンク 1200 テーラン1200 ジャパンカップ1900 アイスホッケー1000	
2020	13,147,000	27,900,000	90,469,884	インターハイ6500 全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750
2021	13,126,000	28,900,000	74,695,884	北京代表選考7500 全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750
2022	13,104,000	26,200,000	61,599,884	全日本4800 全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750
2023	13,086,000	35,400,000	39,285,884	ワールドカップ14000 全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750
2024	13,055,000	21,400,000	30,940,884	全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750
2025	13,043,000	33,700,000	10,283,884	〇〇代表選考7500 全日本4800 全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750
2026	13,014,000	21,400,000	1,897,884	全中19000 トリームリンク1200 テーラン1200	長野マラソン 26750

# 全国中学校スケート大会の 施策的な位置づけ

